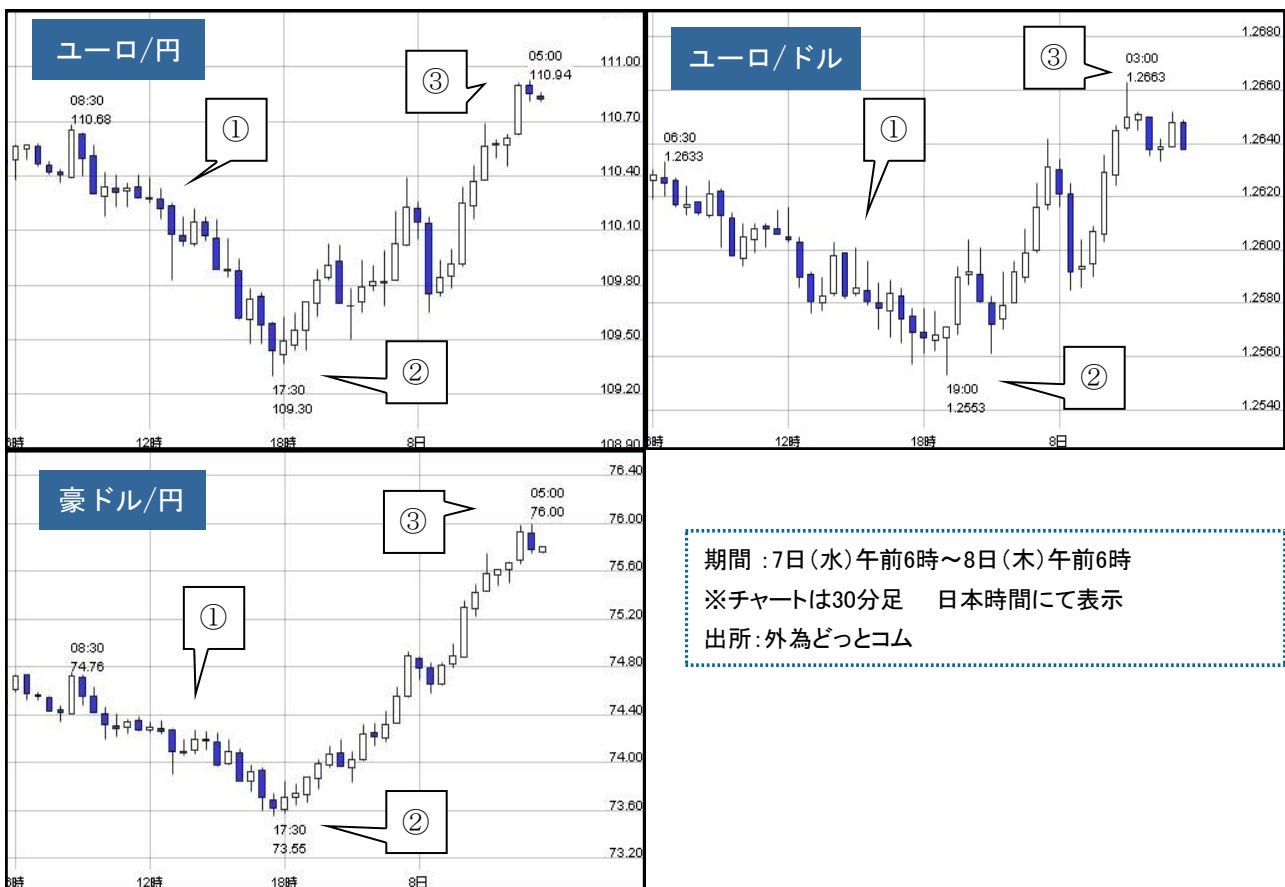


7月8日(木曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 米株上昇で先行きに楽観的ムードが広がる

### 7日(水)の主な推移



- |   |  |
|---|--|
| ① | 午後に入り日経平均株価が一時100円を超えて下落すると、市場ではリスクに対して消極的となる動きへとつながり、クロス円が軟調に推移した。またこの動きに伴い、ユーロ/ドルも値を下げた。   |
| ② | 本邦の株安が欧州にも広まり、市場ではリスクを回避する動きが強まると、ユーロ/円は109.30円、豪ドル/円は73.55円まで下げた。またユーロ/ドルは独5月製造業新規受注が前月比-0.5%となり、市場予想(+0.3%)を下回ったことも材料視され、19時過ぎには1.2553ドルまで下落した。しかしその後、市場では欧州のストレステストに対する楽観論が支配したことや、欧州の株価が下げ渋ったことを手掛かりに、ユーロや豪ドルは緩やかな反発に向かった。 |
| ③ | 米ダウ平均株価が大きく反発したことにより、市場ではリスクを積極的に取るムードとなり、ユーロや豪ドルが反発し、ユーロ/ドルは27時過ぎに1.2663ドルまで上昇した。また引け間際にはダウ平均株価がほぼ1週間ぶりに1万ドルの大台に乗せると、ユーロ/円が110.94円、豪ドル/円は76.00円まで値を上げた。   |

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2480-1.2730ドル  
 ユーロ/円 : 109.50-111.80円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 74.30-76.90円

本日は欧州中銀(ECB)の政策金利発表が予定されている。今回も金利据え置き予想がコンセンサスとなっており、市場では金利動向よりもその後のトリシェECB総裁の会見に注目が集まっている様子である。

また昨晩は今月23日に予定されている欧州金融機関に対するストレステストの結果を楽観視する意見が大勢を占めたことも、ユーロ上昇の一因として挙げられる。引き続き欧州のストレステストについての情報や、市場の見方・捉え方には注意したい。(川畑)

本日豪州の6月失業率・新規雇用者数の発表が予定されている。市場予想では前月よりも雇用者数の伸びの鈍化が見込まれている。昨晩米株の大幅上昇により、市場ではポジティブな材料へ反応したことから、仮に豪州の雇用状況の好転が続いていることが示されれば、市場は素直に豪ドル買いで反応することが予想される。一方で雇用の伸びが予想を下回る場合、豪ドル売りへとつながることも想定される。(川畑)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/8(木)	10:30	○	(豪) 6月新規雇用者数	+2.69万人	+1.50万人
	10:30	○	(豪) 6月失業率	5.2%	5.2%
	20:00		(英) BOE政策金利発表	0.50%	0.50%
	20:45	○	(ユーロ圏) 欧州中銀金融政策発表	1.00%	1.00%
	21:30	○	(米) 7/4までの新規失業保険申請件数	47.2万件	46.0万件
	21:30	○	(ユーロ圏) トリシェECB総裁会見	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。